



十四山西部小学校

コロナ禍の中で行われた学校内行事

令和2年度は、コロナ禍で数々の学校行事が、中止や縮小になってしまいました。令和3年度は、コロナ禍でも開催できるように行事の内容を検討し、感染予防に努めながら、実施しました。今回は、その中から「学習総合発表会」「持久走大会」「全校集会(たてわり対抗借り物競争)」について紹介します。

学習総合発表会



例年、体育館を会場にして行ってきた学習発表会ですが、今年度より学習総合発表会という名称に変更し、11月13日に行いました。会場は各教室などで、3部構成に分けて、学年ごとで行いました。「生活科」(1・2年)と「総合的な学習の時間」(3・4・5・6年)を使って各自がテーマに沿って調べてきた成果を、保護者に発表しました。

校内持久走大会



12月1日に、校内持久走大会を行いました。この日に向けて、児童は2時間目と3時間目の間の休み時間に練習を重ねてきました。大会当日は、寒風吹きすさぶ中ではありましたが、参加児童一人ひとりが自分の力を精いっぱい出し切って、最後まで走り抜くことができました。

全校集会(たてわり対抗借り物競争)



2月2日に児童会役員が計画した、全校集会(たてわり対抗借り物競争)を運動場で行いました。まず、たてわりグループでペアを作り、スタートの合図でそれぞれのペアが、運動場の中央にいる係の児童のところまで走り、カードを引きます。そこに書いてある物を探して、ゴールに早く到着したペアから高得点が得られ、その合計点で順位を競うというゲームです。借りるものは、掃除道具や体育用具や先生などでした。ペアで力を合わせて走る姿に、会場は、大いに盛り上がりました。



大藤小学校

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度の学校行事は延期や縮小という形をとらざるを得なくなりましたが、教職員や子どもたちのアイデアや工夫にあふれる、充実した活動となりました。

運動会



8つのふれあい班が紅白2つのブロックに分かれて、さまざまな競走・競技種目で競い合いました。特に、借り物障害物競争では5・6年生の児童が考案した借り物や障害で全校児童とともに楽しく競技することができました。

野外学習



9月に予定されていましたが、残念ながら延期となり、日帰り日程で行いました。砂時計作りや仲間とともにいった自然の中での体験活動(友情の砂山作り)は、心に残る良い思い出となりました。

修学旅行



11月には新型コロナウイルス感染症の感染状況も落ち着き、京都・奈良へ1泊で行くことができました。クラスの仲間と過ごした1泊2日の時間は一生の思い出となりました。